

アジア研究センター年報 2018-2019

『神奈川大学アジア・レビュー』 Vol.6

目次

論文

P.003

- 論文1 第二回大東亜文学者大会・決戦会議——太平洋戦争末期の文学者 松本 和也
- 論文2 昆布と炭毒——多面的な文化理解の起点として 中林 広一
- 論文3 韓国南東部都市のまちづくりと社会遺産を活かしたまちづくり
重村 力・曾我部昌史・鄭 一止
- 論文4 地域秩序から考える「太平洋のロシア」 加藤美保子
- 論文5 インドの国際秩序観 溜 和敏

シンポジウム報告

P.069

- 国際シンポジウム—米朝首脳会談とは何だったのか？— 編集 佐橋 亮
- 第一部：「2018年に朝鮮半島をめぐる激変した国際環境を分析する」 座長 西野 純也
- 第二部：「今後の北東アジアを展望する」 座長 佐橋 亮

講演会報告

P.099

- 「北朝鮮経済のベールを剥ぐ」“Unveiling the North Korean Economy” 編集 横川 和穂

研究ノート

P.113

- フィリピン・ドゥテルテ政権のゆくえ—その社会経済的背景と問題点— 永野 善子

研究の視点

P.123

- 日本の水道事業の持続可能性の危機 秋山 憲治

調査報告

P.127

- 調査報告 マレーシアにおけるハラル認証とハラルサプライチェーン 高野倉雅人
- 調査報告 アジア・オセアニア地域の自然災害と社会的影響
～3つの自然災害に関する現地調査からの報告～ 荻本 孝久

自著紹介

P.149

- 「アジア社会と水—アジアが抱える現代の水問題—」 後藤 晃・秋山 憲治

書評

P.153

- 「文学場」の歴史は可能か？
——松本和也著『日中開戦後の文学場 報告／芸術／戦場』をめぐって 五味淵典嗣

神奈川大学におけるアジア研究情報

P.159

アジア研究センター共同研究一覧

P.165